

# 椎の苗木通信



夢・力・花いっぱい

木城町立木城中学校

Phone 0983-32-2028

Fax 0983-32-4191

木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり

(木城町教育大綱の基本理念)

## 火災を想定した避難訓練

学校で火災が発生したという設定で避難訓練を1月13日(金)に実施しました。各階段には防火シャッターが設置されており、非常時には、シャッターが下りることになっています。シャッターが下りたということで、トイレの非常扉を通過して運動所へ避難しました。今年は、ほとんどの生徒が無言で避難訓練に取り組み、防災の意識を身に付けたと思います。



運動場に避難した後、各学級の代表生徒が水消火器を使って消火の仕方を訓練しました。

## 3 学期始業式での生徒発表

1月10日(火) 第3学期始業式で4名の生徒が意見発表をしました。

#1 1年生代表 濱砂 慧花さん

3学期には、まず、1年A級がまとまりのあるクラスになるように学級委員長の務めを果たしたいです。次に、部活動で技術や持久力の向上を目

指してしっかり練習したいです。そして、新学年のよいスタートとなるように、1年生の学習内容を復習したり、生活習慣を見直したりしたいです。3学期はまとめの時期であることを意識して取り組んでいきます。

#2 2年生代表 宮田 理湖さん

3学期は、私たち2年生にとっては、3年生への準備の時期です。私の3学期の抱負は、「進歩」です。自分の進みたい高校に合格できるように努力を重ね一步一步進んでいきたいです。そのためには、日々の勉強を充実させ、定期テストにはしっかり計画を立てて勉強に励みたい。また、私は学級副委員長として、クラス全員が成長できるように、自分としてできることを一つ一つ努力していきたいです。

#3 3年生代表 淵上 遙生くん

受験を控え9年間の義務教育が終わる今年はこれからの人生を決める分岐点だと思います。今までいろいろな人、特に家族や先生方にお世話になりました。世界には、戦争や人種差別などで自分のことを考えるのに精一杯な人がいることを思うと、自分のことを大切に考え思ってくださいる人が身近に存在することはとても幸せです。木城中学校で生活することと同学年の皆と過ごすのも3か月となりました。出会えた皆やこれまで支えてくれた人たちに感謝し、後悔の無いようにしたいです。

#### #4 生徒会役員代表 永澤 和真くん

生徒会役員になり2か月が過ぎました。生徒会役員としてやることは大変なことが多いです。例えば、生徒集会での司会、毎日の空き缶回収、毎朝の挨拶運動などです。先生方のアドバイスを受け、自分から行動して、学校をよりよくできるような生徒会役員を目指したいです。そのためには、日頃から気を引き締めて、いろいろなことに取り組んでいき、自分と学校が成長できるように努力していきたいと思います。

#### 租税教室(1年)

高鍋税務署の方が来校され、第1学年生徒を対象に租税教室が1月19日(木)6校時にありました。多目的室で行われ、実際の生活場面のプレゼンテーションを使って、税の種類について生徒たちに考えさせられました。

ワークシートを基に、「直接税」「間接税」の違いを理解し、世の中には、約50種類もの税があることも学びました。生徒も買い物するときに支払っている消費税があります。税金の使い方や日常生活の快適な暮らしに税金が関わっていることなどについても理解するよい機会でした。



#### 校長 雑感

### 考える機械は作れるか？

私たちの生活全般で、コンピュータはなくてはならないものになっています。パソコンだけでなく、スマートフォンやゲーム機もコンピュータの一種ですし、冷蔵庫やエアコンまでコンピュータで制御されています。



ところで、このコンピュータは何人の科学者の研究によってできあがったのですが、その一人がアラン・チューリング(1912~1954)という英国の数学者です。

ケンブリッジ大学で数学を学び、その後、米国プリンストン大学で研究を続け、現在のコンピュータの原型理論を発表しました。

第二次世界大戦中は、ドイツ軍で使われた暗号の解析・解読を行い、チューリングのお陰で、戦争が早く終結し、多くの人の命が救われたと賞賛されました。

戦後は、コンピュータ開発の研究に携わり、「プログラム内蔵式」という現在のコンピュータの基本理論を打ち立てました。当時のコンピュータは、まだ、電気機械式で計算のたびに電気の配線を変える必要がありましたが、チューリングの理論では一つの機械で、プログラムを変えるだけでどんな計算もできるようになるという画期的な理論だったのです。

チューリングの有名な言葉に、『人間の代わりに「考える機械」を作ることはできない』というものがあります。どんなに優れたコンピュータでもそれを作り、使うのは人間です。チューリングは、まだコンピュータのなかった時代に、コンピュータの可能性と同時に、限界も見通していたのでしょう。

